

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)

【公開番号】特開 2001-263743 (P2001-263743A)

【公開日】平成 13 年 9 月 26 日 (2001.9.26)

【出願番号】特願 2000-84342 (P2000-84342)

【国際特許分類第 7 版】

F 2 4 F 7/007

【F I】

F 2 4 F 7/007 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 8 日 (2003.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の請求項 1 に記載の発明は、ファンとモーターを有した換気扇と、太陽の日射を受けて出力する太陽電池と、この太陽電池の出力または商用電源の出力により前記換気扇を運転するコントローラとを備え、前記太陽電池の出力が所定値以下のとき、その出力の不足分を商用電源の出力で補い換気扇を運転する換気装置の構成としたものであり、太陽電池の出力が少ないときにおいても、少ない出力部分を使用し、不足している電力のみを商用電源で補うこととなり、太陽電池の出力を全部使用することで商用電源による消費電力量の低減を図ることができるという作用を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

上記構成において、太陽電池 4 への日射が強いときは安定的に電流を出力することができるため電圧は図 8 で示す (C) 部のように下がらないものである。判定部 14 で得られた電圧を制御部 15 で所定値と比較し、太陽電池 4 から出力される電圧が安定的に 14 V 以上出力されると制御部 15 から電圧調整部 13 に電圧調整の信号を送り、図 7 に示すように、電圧調整部 13 で半導体素子をオン・オフする時間割合を変更して電圧調整を行い、モーター 2 に一定の電圧を印加し、モーター 2 は一定の回転数で運転されることとなる。また、(B) 部における換気装置の動作は実施の形態 1 と同様であり、省略する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

このように本発明の実施の形態 2 の換気装置によれば、太陽電池 4 の出力側に設けられる換気扇 3 のモーター 2 の印加電圧を調整する電圧調整部 13 と、太陽電池 4 の出力電圧を判定する判定部 14 と、判定部 14 で得られた電圧を所定値と比較し、電圧調整部 13 に

信号を送る制御部 15 とを設け、半導体素子をスイッチングするようにしたので換気扇のモーター 2 に印加される印加電圧が一定となり、モーター 2 の回転数を一定にして所定の風量を得ることができるとともに、モーター 2 への印加電圧が高くなるのを防止することとなり、モーター 2 の過剰な回転による騒音を低減することができる。

【手続補正 4】

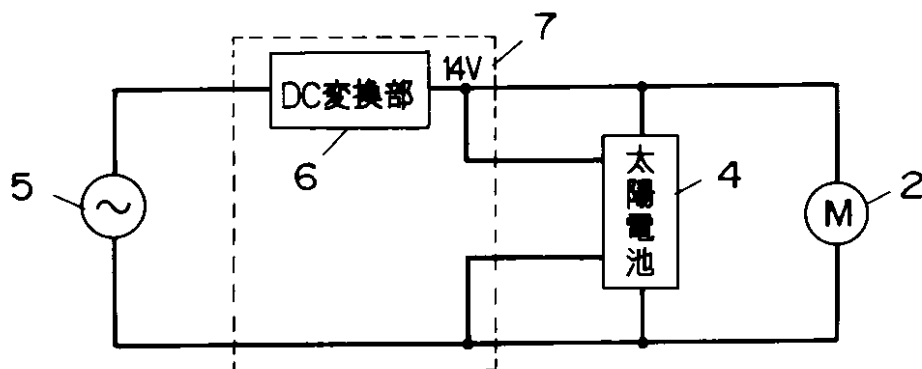
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】



【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3 8】

